

常任委員会審査から

各常任委員会では、令和2年度予算議案以外の議案等を、細部にわたり審査しました。質疑の一部をご紹介します。

総務委員会(議案7件)

包括外部監査結果の活用は

問 監査結果を具体的にどのように活かしているのか。

答 指摘事項について、改善計画を作成し、順次着手するとともに、共通課題は、全庁的に周知徹底を図っている。具体的には、課税誤り防止のため、新たなマニュアルを策定し、職場内研修を実施したほか、民間事業者が管理する市施設における大規模修繕等の取り扱いについて、全庁統一のルールを整備するなど、事務の適正化につなげている。

環境経済委員会(議案7件)

マイナンバーカードの普及について

問 本市におけるマイナンバーカードの交付率とさらなる普及への取り組みは。

答 本市の交付率は昨年12月末現在で18.1%(1月現在の全国平均15.0%)であり全国平均よりは高いが、低い水準と認識している。今後は、企業や大学と連携した一括申請受付のほか、町内自治会等の要望に応じて自治会館等への出張申請受付など、さまざまな申請機会を作っていく。

教育未来委員会(議案6件、請願1件)

子どもルームの受入枠拡大について

問 朝日ヶ丘小学校子どもルームの受入枠拡大の内容と、拡大後も必要な面積を満たすのか伺う。

答 現在60人の受入枠で運営しているが、令和2年度の申し込みが77人に増えており、多くの待機児童の発生が見込まれるため、令和2年度、20人の増枠を行い、80人の受入枠で運営する。なお、面積は130㎡以上あることから、活動場所は十分確保している。

保健消防委員会(議案7件)

社会福祉施設への非常用自家発電設備の設置について

問 高齢者施設、地域包括支援センター、障害者施設に対して助成することのだが、在宅の高齢者、障害者に対する支援は。

答 助成は、停電時に電源を求める在宅の高齢者、障害者に対して支援することが条件である。さらに、高齢者は高齢者施設というような区分にとられることなく、利用できる地域の電源資源として周知していきたい。

都市建設委員会(議案9件、発議1件)

中央公園・通町公園連結強化事業について

問 中心市街地の回遊性を高めると同時に新たに訪れる人の獲得に向けて、どのような取り組みを考えているのか。

答 現在は、近接していないため、中央公園に来た人が、通町公園に行くことはあまりない。通町公園を中央公園まで拡大することにより、連続的な空間を形成し、歴史を感じる千葉神社などの本市の魅力を多くの方に知ってもらい、千葉都心の活性化につなげていきたい。

市政のここが 一般質問 聞きたい



26人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)でご覧いただけます(スマートフォンをお持ちの方は、QRコードからもアクセスできます)。()内は氏名と会派名 ※通告順

- 3月9日(月)
 - 幕張ベイタウン廃棄物空気輸送システムについて (橋本 登 無所属)
 - 民間企業との災害時応援協定について (青山 雅紀 公明党)
 - 急傾斜地について (石川 弘 自由民主党)
 - 保育について (安喰 初美 日本共産党)
 - ごみ問題について (盛田 眞弓 日本共産党)
 - 福祉行政について (岩井 美春 未来民主ちば)
 - 農福連携について (小坂 さとみ 未来民主ちば)

- 3月10日(火)
 - 花見川について (川村 博章 自由民主党)
 - 災害対応・災害復興について (伊藤 隆広 無所属)
 - 災害に強いまちづくり政策パッケージについて (小松崎 文嘉 自由民主党)
 - 子ども医療費助成における薬局での自己負担導入について (椋澤 洋平 日本共産党)

- 3月11日(水)
 - 若葉区のスクラップヤード及び残土処分場について (小川 智之 自由民主党)
 - 地域包括ケアシステムについて (鷲見 隆仁 自由民主党)
 - IRカジノについて (野本 信正 日本共産党)
 - 高齢者の移動手段の確保並びに安全運転支援について (伊藤 康平 公明党)
 - ヤングケアラーについて (岩崎 明子 市民ネット)
 - 災害時等における帰宅困難者対策について (阿部 智 自由民主党)

- 3月12日(木)
 - オリンピック・パラリンピックの成功と施設整備と市民参加について (福永 洋 日本共産党)
 - 成人式について (櫻井 崇 無所属)
 - 子どもの遊びの重要性とプレーパークについて (渡辺 忍 無所属)
 - 防災・減災対策について (白鳥 誠 未来民主ちば)

- 3月13日(金)
 - 病院行政について (米持 克彦 自由民主党)
 - グリーンツーリズムについて (秋山 陽 未来民主ちば)
 - 災害について (三瓶 輝枝 未来民主ちば)
 - 公文書管理について (岡田 慎 未来民主ちば)
 - こども・若者施策について (亀井 琢磨 未来民主ちば)

可決した主な議案

— 令和2年度予算議案以外 —

補正予算:一般会計・特別会計に合計86億2,800万円を追加

補正予算の主なものは、次のとおりです。

- 下水道施設整備(浸水被害軽減のための雨水貯留槽設置工事、雨水管渠布設工事、管更生工事等) 9億5,600万円
- 急傾斜地崩壊対策 3億2,040万円
- 社会福祉施設等非常用自家発電設備整備 4億5,088万円
- 農業施設被害復旧助成 8億3,981万円

無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定

社会福祉法が改正されたことに伴い、新たに無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。条例の内容は、原則として国の基準に準拠し、その上で、市独自の基準を定めます。

■市独自基準

- 居室面積:新規施設については、7.43㎡未満の居室を認めない。
- 居室面積に係る経過措置:既存施設については、4.95㎡以上とする。
- 非常災害対策:非常食等の物資の確保に努める。

■施行期日

令和2年4月1日

新たに容量5リットルの可燃ごみ指定袋を販売します。

ごみの排出量が少ない単身世帯などに対応するため、本市条例を改正し、令和2年9月1日から新たに容量5リットルの可燃ごみ指定袋を販売します。処理手数料は、5リットル相当のもの1枚につき4円です。



へらそうくん